

1 子どもの安全・安心【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

人とのつながりが感じられ、支えあうことができます。

将来像に向けた方向性

区を構成する人々が互いに支えあう社会をつくる必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	児童の登下校時における安全・安心については、地域住民（町会）・保護者・シルバー人材センターによる見守り活動等を行っている一方で、これまで見守り活動の中心だった地域住民の高齢化や夫婦共働き世帯の増加により担い手不足が課題となっています。 令和7年度は、区内大学生と連携した見守り事業の拡大を図るとともに、モデルケースとして1校の区立小学校の通学路上等へ防犯カメラの設置を行い、子どもの見守り体制の強化を図ります。			
事業費	予算現額		決算額		執行率
	9,568,000円		6,956,641円		72.7%
事業実績	○令和7年度実績 地域住民の高齢化及び共働き世帯の増加等による、子どもの見守り活動の担い手不足を補うため、以下の活動を行いました。 （1）活動啓発物品の街頭配布 「ながら見守り」活動※の普及啓発のために、区内にキャンパスを有する大学（法政大学、明治大学）の学生18名の協力を得ながら、令和6年度に作成したキーホルダーの街頭配布を実施しました。 ※「ながら見守り」活動：日常生活を送り「ながら」、防犯の視点を持って子どもたちを「見守る」ことで、登下校時等の安全・安心を確保する取組み （2）通学路上等への防犯カメラの設置 モデルケースとして、区立昌平小学校の通学路上等に防犯カメラを計6台設置し、子どもの見守り体制を強化しました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況 令和9年度予算への対応	見守り活動の担い手不足を補うためには、「ながら見守り」活動を含め、区民・在勤者・在学者等と協力しながら見守り活動を推進する必要があります。 令和8年度は、区立小学校3校の通学路上等へ防犯カメラの設置を行うとともに、モデルケースとして設置した防犯カメラの効果検証を踏まえて、子どもの登下校時等の安全・安心を確保する取組みを進めるほか、見守り活動のさらなる推進に向けて、「ながら見守り」活動の普及啓発にも継続して取り組みます。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、区立小学校4校の通学路上等への防犯カメラの設置を行い、子どもの見守り体制の強化を図ります。				
所管課 子ども部 子ども総務課		決算参考書	136頁	R7予算の概要	118頁

2 子どもの権利推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方向性

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	令和5年4月にこども基本法が施行されたことを踏まえ、子どもの権利の普及啓発、子ども等の意見聴取や政策への反映に係る取組みをさらに推進していく必要があります。 令和7年度は、区内在住の生徒等や保護者を対象としたアンケートの実施により、区が子ども・保護者に広く情報を発信する方法や、子どもが区に思いを伝えられる方法等について検討します。 また、区内在住の小学生を対象にワークショップを実施し、子どもたちが区政に対するアイデアを出し、意見表明をしてもらう機会を設け、子どもの区政に対する興味関心の向上を図ります。		
事業費	予算現額	決算額	執行率	
	9,950,000円	9,512,815円	95.6%	
事業実績	○令和7年度実績 子ども・保護者向けのアンケート調査及びワークショップを実施し、子どもの意見表明の機会を設けるとともに、子どもの意見聴取及び政策反映に関する基礎的なデータの蓄積を図り、課題や方向性を整理しました。また、あわせて職員研修を行い、職員の理解促進を図りました。 (1) アンケート調査の実施 調査期間：令和7年6月20日～7月19日 調査対象：【子ども】小学校4年生から高校生世代の区民 【保護者】4歳～高校生世代の子どもがいる保護者 調査回答：【子ども】671件、【保護者】1,020件 (2) 子どもワークショップの実施 実施回数：2回 参加者数：計60名 (3) 職員研修 実施回数：2回 参加者数：計95名			
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況 令和9年度予算への対応	今後さらに子ども等の意見聴取や政策への反映に係る取組みを推進していくためには、区としての統一的な考え方や指針の整理に加え、実践的なノウハウの共有・蓄積が必要です。 令和8年度は、これらの課題を踏まえ、引き続き子どもワークショップを実施するとともに、区独自のガイドラインの策定や、職員によるサポートメンバー会議の運営、職員研修を一体的に実施し、子どもへの意見聴取から政策反映までを担う職員の実践力向上を図ります。 令和9年度は、令和8年度に策定するガイドラインの定着を図るとともに、人材育成の推進及び意見聴取の機会を継続的に確保することで、子どもの意見の政策反映を着実に推進するための運用体制の充実を図ります。			
所管課 子ども部 子ども総務課		決算参考書	136頁	R7予算の概要 111頁

3 産官学連携推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	区は、令和5年度に策定した「今後の学校等のあり方基本構想」を基に、子どものより良い教育環境の充実にに向けた取組みを進めています。 令和7年度は、令和6年度に構築した学校と企業等の連携スキームを基に、学校と企業等をつなぐ橋渡し役としてコーディネーターを設置し、学校・企業等の連携をさらに進めることで、子どもたちの主体性や創造力を育むための実践的な学びの機会を創出していきます。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	3,100,000円	3,080,000円		99.4%
事業実績	○令和7年度実績 学校負担の軽減と連携の質の向上を図るとともに、産官学連携を継続的かつ安定的に推進するための基盤整備について進めました。 (1) 産官学連携コーディネーターの設置 新規連携先の開拓や学校と企業等との調整機能の強化により、25件のマッチングを実現し、職場体験等の連携授業を実施しました。また、企業アンケート等を実施し、学校と企業等との認識差や課題を整理しました。 (2) ちよだ学びフェスの開催(31団体出展、約550名来場) 広く地域の子どもたちに、実社会とつながる学びの機会を提供し、企業間の新たなネットワーク形成や、企業等と学校の連携機会の創出に寄与しました。			
令和9年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	コーディネーターの設置により、企業等と学校間の調整機能が強化され、連携機会の創出や教員の負担軽減につながるなど一定の成果が見られました。今後は、教員への周知・定着をさらに進めることで、継続的かつ効果的な連携の実現をめざします。 令和8年度は、コーディネーター機能の継続・強化を図るとともに、学校現場でのさらなる活用促進や連携機会の創出に取り組みます。また、ちよだ学びフェスの内容充実や実施機会の拡大により、産官学連携のさらなる推進と子どもたちの学びの機会の充実を図ります。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、コーディネーター機能を維持・強化することで、持続可能な推進体制の確保を図ります。			
所管課 子ども部 子ども総務課		決算参考書	136頁	R7予算の概要 111頁

4 給付型奨学金【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

（関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン）

事業概要	内容	学業に意欲と能力を持ち、大学等への進学を希望する生徒が、個々の家庭環境等に関わらず望む教育を受けられるように支援をしていく必要があります。 令和7年度は、保護者が区内に住所を有する生徒を対象に、学業成績や学習意欲、進学目的等を踏まえて選考したうえで、給付型奨学金を支給することで、生徒の学びたい気持ちを支援します。		
事業費	予算現額	決算額		執行率
	14,190,000円	6,309,643円		44.5%
事業実績	○令和7年度実績 選考（筆記試験、書類選考、面接）により奨学生として決定した者に対し、入学する大学等の学費（授業料等）及び入学料の実費相当額を奨学金として支給しました。 （1）奨学生決定者 10名 （2）奨学金支給額			
		学費（授業料等）※1	入学料※2	
	支給額	2,642,880円	1,600,000円	
	※1 上限80万円／年（前期40万円・後期40万円） ※2 上限20万円 ※奨学生の決定人数及び支給額が当初の見込みを下回ったため、執行率が低くなりました。			
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度予算への対応 令和9年度予算への対応	対象要件が十分に周知されていないこと等により申請に至っていないケースや、申請・選考手続きに対する負担感から申請を見送っているケースがあると想定されており、事業の認知度を高めていくことや、申請・選考スケジュールの見直しを図っていく必要があります。 令和8年度は、広報千代田や区ホームページ等を活用した周知を継続するとともに、私立高校や大手予備校等への周知依頼を行うなど、事業の認知度向上と制度理解の促進に取り組めます。あわせて、より多くの方が申請しやすい環境を整えるため、申請期間の延長や選考スケジュールの見直しを行います。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、事業周知の充実を図るとともに、必要に応じて対象要件や運用方法の見直しを行い、制度の定着を図っていきます。			
所管課 子ども部 子ども総務課		決算参考書	136頁	R7予算の概要 112頁

5 教材費補助【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

（関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン）

事業概要	内容	区立学校では、児童・生徒の学びを深めるとともに、学習内容の習熟を図るため、教科用図書以外にも様々な教材を活用しています。
		令和7年度は、公教育の充実を図るため、区立小学校・中学校・中等教育学校（前期課程）の児童・生徒が教室で使用する副読本やドリルなどの教材費を全額補助します。

事業費	予算現額	決算額	執行率
	67,212,000円	55,329,747円	82.3%

事業実績	○令和7年度実績		
	児童・生徒の保護者が負担する教材費を全額補助することで質の高い教育を受けられるよう支援を行いました。		
		対象者数※	補助額
	小学校	3,239人	31,606,983円
	中学校	646人	11,036,351円
	中等教育学校（前期課程）	473人	12,686,413円

※対象者数は令和7年5月1日時点の人数です。

令和9年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題
	全ての子どもが十分な教育を受けられる環境を整備することで、公教育の充実を図る必要があります。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、対象となる教材費の全額補助を行い、学校での教育環境のさらなる充実を図っていきます。

所管課 子ども部 学務課	決算参考書	136頁	R7予算の概要	112頁
--------------	-------	------	---------	------

6 和泉小学校・いずみこども園等施設整備

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	和泉小学校・いずみこども園等施設は昭和62年の竣工から築38年が経過し、設備などの老朽化が進んでいることに加え、各階で利用者動線の混在などの課題を抱えていることから、建替えに向けた検討を進めています。 令和7年度は、令和6年度に引き続き、隣接する和泉公園との一体的な整備に向けた検討を進め、構想として取りまとめた後に、和泉公園の都市計画決定（変更）と施設・公園の基本計画の策定に取り組みます。 また、本件施設整備を踏まえた旧和泉町ポンプ所跡地の効果的な活用策について検討し、基本計画等へ反映します。			
事業費	予算現額		決算額		執行率
	26,243,000円		25,825,450円		98.4%
事業実績	○令和7年度実績 和泉小学校・いずみこども園等施設の建替えに向け、和泉公園も含め全体の機能が向上するよう施設関係者及び地域関係者等と意見交換を重ね、「和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備構想」を令和8年2月に策定しました。 (1) 施設関係者及び地域関係者等へのヒアリング（令和7年6月～令和8年2月） (2) 公園と校庭の兼用事例（タイムシェア）に関するヒアリング調査 (3) 和泉小学校・いずみこども園等施設と和泉公園との一体的整備に向けた検討会（令和7年9月19日、令和8年2月16日） (4) 第2回オープンハウス型地域説明会（令和7年10月19日、20日） (5) 千代田区都市計画審議会報告（令和7年12月16日、令和8年3月26日） (6) パブリックコメントを実施 令和7年12月5日～22日の期間で実施（意見者数：5名（うち団体1）、意見：33件）				
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度予算への対応 令和9年度予算への対応	整備にあたっては、児童・園児・周辺地域等に十分配慮して検討を進めていく必要があります。また、工事期間中の和泉公園機能の代替についても、旧和泉町ポンプ所跡地の効果的な活用を含めた検討が必要です。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、施設関係者及び地域関係者等と連携を図りながら、工事期間中の和泉公園機能の代替を含め、一体的整備の検討を進めます。また、和泉公園の都市計画が決定（変更）され、基本計画を策定した後に、基本設計に着手します。 令和9年度は、新施設の基本設計の完了後、実施設計に着手します。				
所管課 子ども部 子ども施設課		決算参考書	138頁	R7予算の概要	113頁

7 番町小学校・幼稚園整備計画の検討【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	築50年以上が経過している番町小学校・幼稚園については、老朽化が進んだ校舎の機能更新にあたり、良好な教育環境の確保に加え、防災拠点としての役割も踏まえ、効果的かつ効率的に整備を進める必要があります。 令和7年度は、これまでの基礎調査を踏まえ、学校・園関係者等との意見交換等を行い、整備に向けた検討を行います。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	5,815,000円		5,500,000円	94.6%
事業実績	○令和7年度実績 令和6年度に引き続き、仮校舎についての調査・検討を行い、今後の整備検討の前提として、必要となる部屋や規模の整理のほか、仮校舎の整備パターンの比較を行いました。 また、令和8年度以降の検討会開催に向け、学校・園関係者等と意見交換を行いました。 (1) 仮校舎についての調査・検討 ①仮校舎に求められる施設規模・部屋等の整理 ②仮校舎整備方法の類型化及び比較 (2) 検討会に向けた学校・園関係者等との意見交換 令和6年度までの基礎調査にて整理した、番町小学校・幼稚園の沿革、歴史及び現状の課題について、学校・園関係者等と意見交換しました。			
令和9年度予算への対応	仮校舎の検討をさらに進めるとともに、一層の教育環境の充実と地域に根差した施設整備の実現のためには、学校・園関係者等と一体となって検討を行うことが必要です。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、これまでの基礎調査を踏まえ、学校・園関係者等との意見交換等を行い、整備に向けた検討を行います。 令和9年度は、令和8年度の検討結果を踏まえ、基本構想の策定に取り組みます。			

所管課 子ども部 子ども施設課	決算参考書	138頁	R7予算の概要	113頁
-----------------	-------	------	---------	------

8 部活動の推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方向性

多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育てていくことが必要である。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	区は、国の「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」を踏まえ、令和5年度から部活動の一部について、外部委託による指導を平日も含めて試行的に実施しています。
		国は、令和5年度からの3年間で改革推進期間と定めていましたが、新たに令和8年度からの6年間で改革実行期間と位置付ける方向性を示しています。令和7年度は、改革推進期間の最終年度となることから、学校の意向を踏まえた外部委託による部活動をさらに拡大するとともに、試行実施で明らかとなった指導の質の向上や教員の働き方改革に対する成果を整理することで、部活動の地域展開等の本格実施に向けた準備を進めます。

事業費	予算現額	決算額	執行率
	88,156,000円	80,639,616円	91.5%

事業実績	○令和7年度実績 希望する教員による指導に加えて、地域人材を中心とした部活動指導員、部活動の外部委託による指導を行いました。			
		麹町中学校	神田一橋中学校	九段中等教育学校
	部活動の外部委託	12部活動 (陸上、バレーボール、男子バドミントン、卓球、ダンス、男子バスケットボール、女子バスケットボール、家庭科、水泳、日本文化、吹奏楽、サッカー)	12部活動 (硬式テニス、男子バドミントン、女子バドミントン、和太鼓、水泳、フットサル、家庭科、吹奏楽、陸上、茶道、競技かるた、美術)	6部活動 (サッカー、吹奏楽、卓球、軟式野球、バドミントン、水泳)

令和9年度予算への対応	実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況	指導者を継続的に確保できる部活動においては地域人材を活用し、難しい部活動においては外部委託を行い、ハイブリッド的に部活動の地域展開等を進めることで、平日も含めた部活動の実施・指導体制の充実、教員の働き方改革を実現していく必要があります。
		令和8年度は、改革実行期間の初年度として、九段中等教育学校（後期課程）の部活動にも外部委託を拡大するとともに、外部指導者及び部活動指導員を適切に配置し、専門的な技術指導を行うことで、部活動の指導の質の向上及び教員の業務軽減・働き方改革を推進します。また、有識者を含めた「（仮称）部活動のあり方検討会」を開催し、これまでの取組みを振り返るとともに、今後の部活動のあり方を検討していきます。

令和9年度は、令和8年度の検討結果を踏まえ、生徒、保護者、教職員等のニーズに一層的確に対応できるよう、部活動の推進を図ります。

所管課	子ども部 指導課、九段中等教育学校経営企画室	決算参考書	138頁	R7予算の概要	114頁
-----	------------------------	-------	------	---------	------

9 特別支援サポート【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方向性

多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン、千代田区障害福祉プラン)

事業概要	内容	区は、特別な支援を要する子どもに対して、各種シート（はばたきプラン、保育支援シート、就学（園）支援シート、教育支援シート）を保護者とともに作成することで、発達段階に応じた切れ目のない支援を行っています。 令和7年度は、就園・就学・進学の際に関係機関が迅速にシートの情報を共有し、それを踏まえた適切な支援が計画的に行われるようにするとともに、各種シート作成に係る保護者の負担を軽減するため、各種シートの情報を統合した（仮称）千代田区こどもカルテシステムを構築します。
------	----	---

事業費	予算現額	決算額	執行率
	144,448,000円	112,289,700円	77.7%

事業実績	○令和7年度実績 特別な支援を要する子どもに対して作成する複数のシートを統合し、0歳～18歳の支援情報を一元管理する「はぐくみ千代田」システムを構築し、円滑に情報共有できる環境を整備しました。 (1) システムの設計 導入機能や過去のシートの取り込みに向けた検討を行いました。 (2) システム名称の決定 教育委員会内で公募を実施し、親しみやすさや呼びやすさといった観点から、名称を「はぐくみ千代田」に決定しました。 (3) 学校・園関係者による試験運用 令和8年2月～3月の期間で試験運用を行い、児童の登録方法やシート作成機能を確認しました。 (4) システムの運用開始 令和8年4月からデータ移行等を含めた実運用を開始しました。	
------	--	---

▲システム入力画面

令和9年度予算への対応	「はぐくみ千代田」システムを活用することで、関係機関が情報を共有し連携を深め、子どもの特性に応じた支援をより早い段階で検討していくことが重要です。 令和8年度は、過去シートのデータの追加・移行を行うとともに、ポータルサイトを通じて保護者による閲覧を可能とし、保護者あての通知機能及び同意確認機能を実装することで、各種シート作成に係る保護者の負担軽減を図ります。 令和9年度は、健診情報との連携や生成AIの活用により、関係機関の情報共有を一層深め、利便性を向上することで、より早期の支援につなげます。
-------------	--

所管課	子ども部 児童・家庭支援センター、指導課	決算参考書	140頁	R7予算の概要	117頁
-----	----------------------	-------	------	---------	------

10 いじめ・不登校防止プロジェクト【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方向性

多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	区は、いじめ・不登校の未然防止や早期発見、早期対応に向けた取組みを進めるとともに、スクールソーシャルワーカーの派遣等により、児童・生徒の支援を行っています。また、区立小学校・中学校・中等教育学校全校にSSR（スペシャルサポートルーム）※を設置し、自分のクラスに入りづらい児童・生徒の居場所と学びの場を確保しています。	
		令和7年度は、SSRを利用する児童・生徒にとって居心地のよい場所となるように各校のSSRの環境づくりを進めます。また、モデル校において通常の教室とは異なる備品を設置し、利用する児童・生徒により適した環境整備と支援を検証します。 ※SSR（スペシャルサポートルーム）：クラスに入りづらい児童・生徒が、落ち着いた空間の中で自分に合ったペースで学習・生活できるように設けられた教室	

事業費	予算現額	決算額	執行率
	12,328,000円	9,958,246円	80.8%

事業実績	○令和7年度実績 区立小学校・中学校・中等教育学校全校に設置しているSSRの環境づくりを進めました。また、モデル校である富士見小学校には、個別スペースや学習スペースを設置し、それらの活用による児童の安心感の向上や学習意欲の喚起等の効果について検証を行いました。		
	 ▲整備後の教室		

令和9年度予算への対応	本区におけるいじめの認知件数及び不登校児童・生徒数は、心理的要因等の多様化を背景として増加しており、引き続ききめ細やかな支援が必要です。		
	令和8年度は、アンケートや相談レター等による未然防止・早期対応に引き続き取り組むとともに、関係機関や専門職と連携し、支援体制の充実を図っています。また、統括心理アドバイザーの配置により各校への助言機能を強化するほか、神田一橋中学校にチャレンジクラス※を新設することで、不登校支援の充実に取り組みます。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、いじめ・不登校の未然防止や早期発見、早期対応に向けた取組みを継続し、支援の一層の充実を図ります。 ※チャレンジクラス：不登校生徒が安心して過ごし、自分のペースで学べる学校内の教室		

所管課 子ども部 指導課	決算参考書	140頁	R7予算の概要	117頁
--------------	-------	------	---------	------

11 ICT学校教育システムの推進【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。			
将来像に向けた方向性			
多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。 (関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)			
事業概要	内容	区は、新たな時代を生き抜く人材の育成に向け、教育施設へのICT環境を整備し、教育活動で活用するほか、校務にも活用することで教職員の働き方改革を進めています。 令和7年度は、令和6年度に文部科学省の高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）の採択校となった九段中等教育学校において、区立校のモデルとして、デジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図るための環境整備と、探究を軸とした数理・データサイエンス・AIなどを含むSTEAM教育※の学習を取り入れたプログラム学習を実施します。 ※STEAM教育：科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術・リベラルアーツ（Arts）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。知る（探究）とつくる（創造）のサイクルを生み出す、分野横断的な教育	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	376,822,000円	351,526,798円	93.3%
事業実績	○令和7年度実績 (1) 安定的かつ高速な通信環境整備と最先端の学びの場の提供 ネットワーク機器の更新のほか、PC・LL教室の環境整備と合わせて実習用端末を導入し、ICT環境の整備充実を図りました。 (2) DXハイスクール事業の推進 事業指定校として、実習機器の高性能カメラやセンサーのほか、デジタル測定器、特殊プリンター等を導入し、探究活動を軸としたSTEAM教育の学習に活用しました。また、指定校同士での情報交換や交流を図り、授業に生かすなどの取組みを実践しました。 (3) 区立小学校への展開 区立小学校の5、6年生を対象にドローンや3Dプリンターを活用した体験講座の実施や生成AIの利活用など先進的に行ってきた取組みを展開しました。 (4) 九段中等教育学校教員と区立小・中学校教員との交流 年4回実施している情報教育主任会において、九段中等教育学校における生成AIの利活用等、ICT学校教育に関する情報交換を行いました。		
令和9年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	デジタル等成長分野を支える人材育成の充実を図るためには、ICT環境の整備と探究を軸としたSTEAM教育の充実が必要です。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、生成AIの利活用の機会創出と区立小・中学校へと取組みを展開し、文理横断的な探究活動を推進していきます。また、情報の授業の履修率、探究コンテストなどへの応募数、大学進学実績などの向上をめざし、取組みを進めます。		
所管課	子ども部 九段中等教育学校経営企画室	決算参考書	144頁
		R7予算の概要	114頁

12 学校行事【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。			
将来像に向けた方向性			
多様な人々と関わり、未来を切り拓き、たくましく生きる人材を育んでいくことが必要である。 (関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)			
事業概要	内容	九段中等教育学校では、九段探究プランとして「STEAM」「グローバル」「アントレプレナーシップ※」の3つの領域や、各教科の教育活動を探究的な学びでつなぎ、生徒自らが進んで学び、自分らしさを確立するための教育を行っています。 令和7年度は、グローバル（海外大学体験）の学習がメインであるUCLA海外研修旅行（選抜型）に加え、STEAM（モノづくり）の学習に重きを置いたシリコンバレー海外研修（選抜型）を実施します。研修では、最先端企業や研究所、科学博物館等を訪問し先進的なデジタル技術の発展に直接触れることで、STEAM教育を推進します。 ※アントレプレナーシップ：様々な困難や変化に対し、与えられた環境のみならず、自ら枠を超えて行動を起こし、新たな価値を生み出していく精神や姿勢	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	45,418,000円	34,895,491円	76.8%
事業実績	○令和7年度実績 (1) UCLA海外大学派遣研修（令和7年8月7日～15日） アメリカ・ロサンゼルスにあるカリフォルニア大学ロサンゼルス校の寮や施設を活用してプログラムを実施しました。他者の意見を尊重しながら自ら考え、英語で表現したり、仲間と協働する経験を通してリーダーシップと主体性を育む内容とし、生徒16名が参加しました。（事前学習8回、現地学習8日、事後学習4回） (2) シリコンバレー派遣研修（令和7年9月30日～10月5日） シリコンバレーというイノベーションの最前線で、自ら考え、課題に挑戦し、アイデアを形にする力を育むことを目的としたプログラムとなっており、事前に学んだデザイン思考のプロセスを活用し、社会問題の解決に取り組むことで、創造力やアントレプレナーシップを養う内容とし、生徒16名が参加しました。（事前学習21回、現地学習5日、事後学習6回）		
令和9年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	国際的な視野を持った人材育成の充実を図るためには、生徒自らが進んで学び、自分らしさを確立できる体験活動の充実が必要です。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、世界情勢の動向を注視しつつ、生徒が多様な文化背景を持つ人々や先進的なデジタル技術に触れる機会を確保し、探究的な学びを通じたグローバル人材の育成とSTEAM教育の推進を図ります。		
所管課	子ども部 九段中等教育学校経営企画室	決算参考書	144頁 R7予算の概要 115頁

13 幼稚園給食【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。			
将来像に向けた方向性			
のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。 (関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)			
事業概要	内容	区は、園児が食べる喜びや楽しさ、食べ物への興味や関心を通じて自ら進んで食べようとする気持ちが育つように食育を推進しています。 令和7年度は、区立幼稚園に通う園児の健康の増進と食育の推進を図るとともに、保護者の負担を軽減するため、お茶の水幼稚園において給食提供を開始します。また、麴町幼稚園、九段幼稚園、番町幼稚園においては、引き続き給食提供に向けた検討を進め、給食提供が可能となるまでの間については、弁当を提供し、園児の食育の推進、保護者の負担軽減を図ります。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	68,389,000円	62,988,095円	92.1%
事業実績	○令和7年度実績 (1) お茶の水幼稚園での給食提供開始(令和7年4月) (2) 麴町幼稚園、九段幼稚園、番町幼稚園での弁当給食提供開始(令和7年4月) (3) 給食提供未実施園での給食提供に向けた検討 実施手法について、実施時期の見込みや経費の概算、実現可能性等を比較し、検討を行いました。		
令和9年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	お茶の水幼稚園において、令和7年4月から給食提供を開始しました。一方で給食提供未実施の麴町幼稚園、九段幼稚園、番町幼稚園の3園については、弁当給食を提供するとともに、引き続き全ての園での給食提供に向けた検討を進める必要があります。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、既に給食を実施している幼稚園においては給食提供を継続するとともに、上記3園についての給食提供が可能となるまでの間は弁当給食を提供し、全ての園において園児の食育の推進、保護者の負担軽減を図ります。		
所管課 子ども部 学務課		決算参考書	144頁 R7予算の概要 115頁

14 子どもの遊び場確保の取組み【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。			
将来像に向けた方向性			
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。 (関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)			
事業概要	内容	区は、区内の様々な資源を子どもの遊び場としても活用できるよう積極的に取り組んでいます。また、区立公園等においては運用方法を工夫するなど、子どもが自由に外で遊ぶことができる環境づくりに努めています。 令和7年度は、旧九段中学校の校庭・体育館を遊び場として使用できるようにし、子どもの遊び場のさらなる充実に取り組んでいきます。 また、夏に猛暑日が続く異常気象が常態化しつつある中、夏場でも子どもが安全に遊べるように、旧九段中学校の体育館及び一部区立小学校の体育館を開放します。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	63,478,000円	49,923,432円	78.6%
事業実績	○令和7年度実績 (1) 旧九段中学校の遊び場としての開放（通年） 旧九段中学校の校庭及び体育館を子どもの遊び場として開放しました。 利用実績 延べ7,175名 ①幼児及び小学生 延べ5,960名 ②中学生及び高校生 延べ1,215名 (2) 夏季の小学校体育館の開放（令和7年7月22日～8月29日） 区立小学校2校（九段小学校及びお茶の水小学校）の体育館を、夏場でも安全に遊べるよう開放しました。 利用実績 延べ180名		
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度取組への対応 令和9年度予算への対応	子どもの遊び場事業については、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」報告書において「量の拡大から質の向上」の方向性が示され、今後は単なる施設数の確保だけでなく、天候に左右されない利用や幼児・小学生・中高生など年代に応じた利用への対応等に配慮する必要があります。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、報告書で示された方向性を踏まえつつ、区民ニーズや利用実態に応じて遊び場の充実を図るとともに、子どもが安心して楽しむことができる環境整備を継続します。		
所管課 子ども部 子育て推進課		決算参考書	148頁 R7予算の概要 107頁

15 出産費用助成【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	国全体の合計特殊出生率が減少傾向にあり、東京都では合計特殊出生率が全国最低を記録するなど、少子化が一層進行する中、区の出生数においても、平成29年度をピークに増減を繰り返しながらも減少に転じています。 令和5年に、出産育児一時金が42万円から50万円に引き上げられましたが、都内の公的・私的病院及び診療所における正常分娩費用の平均額は、出産育児一時金を上回っており、子どもを産み育てようとする世帯の負担となっています。 令和7年度は、子どもを持つことを希望する人が、子どもを安心して産み育てられると前向きになれるように、出産費用について、出産育児一時金を上回り自己負担が生じた場合に助成（上限額：31万円）することで、経済的負担の軽減を図ります。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	186,000,000円		85,749,274円	46.1%
事業実績	○令和7年度実績			
	対象者数	助成人数	助成額	1人あたり平均助成額
	439人	328人	85,749,274円	261,431円
※申請件数が想定を下回ったことにより、執行率が低くなりました。				
実績を踏まえた評価・課題 令和9年度予算への対応	出産費用助成については、出産日から2年間申請を可能としたことにより、未申請者が一定数見込まれることから、制度の周知及び申請促進を図っていく必要があります。 令和8年度は、より多くの対象者の利用につなげるため、申請状況の把握に努め、令和7年度の未申請者も含めた制度周知に取り組みます。 また、国において出産費用の保険適用に向けた制度改正が進められていることを踏まえ、本区制度の方向性について検討を行います。 令和9年度は、令和8年度の検討結果を踏まえ、必要な見直しを行います。			
所管課 子ども部 子育て推進課		決算参考書	148頁	R7予算の概要 107頁

16 中高生世代応援手当【新規】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。			
将来像に向けた方向性			
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。 (関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)			
事業概要	内容	区は、妊娠時から広く手当を支給し、家庭における生活の安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として、児童手当の対象とならない児童を養育する保護者等に次世代育成手当を支給してきました。 児童手当法の改正により児童手当が拡充され、高校生等が支給対象となるとともに所得制限が撤廃されたことに伴い、次世代育成手当の支給要件に該当する児童がいなくなりました。 中学生以降の子育てに係る経費が増大する実態を踏まえ、令和7年度からは、中学生・高校生等を養育する保護者等に対して、新たに中高生世代応援手当を支給（子ども1人あたり月額15,000円）し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。	
事業費	予算現額	決算額	執行率
	582,600,000円	516,930,000円	88.7%
事業実績	○令和7年度実績		
	受給者数	支給対象児童数	支給総額
	2,672人	3,355人	516,930,000円
令和8年度実績を踏まえた評価・課題 令和9年度予算への対応	子どもの成長とともに増加する教育費、食費等の経済的負担の軽減を図り、中高生世代が安心して暮らすことのできる生活の実現に向けた支援が必要です。 令和8年度は、手当受給者に対し手当の用途等についてのアンケートを実施し、効果検証を行います。 令和9年度は、効果検証の結果を踏まえて、子育て世帯への経済的な支援を図っていきます。		
所管課 子ども部 子育て推進課		決算参考書	148頁 R7予算の概要 108頁

17 こども医療費助成【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン)

事業概要	内容	区は、18歳に達した日以降最初の3月31日までの間にある子どもが、医療機関で治療を受けた際の保険診療の自己負担分について全額助成しています。 令和7年度は、これまで助成の対象外だった入院時の食事療養標準負担額についても全額助成することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 乳幼児医療費助成	173,483,000円	147,643,138円	85.1%
	(2) 義務教育就学児医療費助成	288,643,000円	257,435,567円	89.2%
	(3) 高校生等医療費助成	83,270,000円	75,554,047円	90.7%
事業実績	○令和7年度実績			
	入院時食事療養費助成実績			
	区分	食数	金額	
	乳幼児	2,417食	996,960円	
	義務教育就学児	988食	503,880円	
	高校生等	532食	231,720円	
	合計	3,937食	1,732,560円	
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度の取組状況 令和9年度予算への対応	入院時の食事療養標準負担額について、新たに助成対象としたことにより、子育て世帯の経済的負担の軽減につながりました。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、保険診療に係る医療費の自己負担分及び入院時食事療養標準負担額の全額助成を行い、子どもが安心して医療を受けられる環境の確保を図ります。			
所管課 子ども部 子育て推進課		決算参考書	148頁	R7予算の概要 108頁

18 私立保育所等への運営補助関連事業【拡充・補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等			
多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。			
将来像に向けた方向性			
子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。 (関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン、千代田区子ども・子育て支援事業計画)			
事業概要	内容	私立保育所等の安定的な運営を継続していくため、保育事業者に対し、栄養士や看護師など専門職を配置した場合等の人材確保に係る経費や、家賃補助等の運営に係る経費を助成しています。 令和7年度は、認可保育所・認定こども園において、特に支援などを要する乳幼児に対応するため、国の職員配置の基準を超えて保育士等を配置した場合の加算額単価を増額することで、保育の質の向上を図ります。 また、認証保育所等においては、障害児の受入促進補助や、地域の需要に応じた保育サービスの提供に係る補助を拡充することで、多様なニーズに応えるとともに、地域の子育て支援を強化します。	
事業費	予算現額		決算額
	(1) 私立保育所等運営補助 (認可保育所)	4,404,326,000円	4,204,973,567円
	(2) 私立保育所等運営補助 (認定こども園)	409,948,000円	395,840,239円
	(3) 認証保育所等運営補助	1,085,260,000円	820,791,994円
事業実績	○令和7年度実績		
	下表の施設に対して、次の内容を含め、運営に係る補助を実施しました。		
	(1) 基準外職員配置加算	347,493,600円	
	(2) 障害児受入促進加算	8,102,060円	
令和9年度予算への対応	(3) ICT化推進事業加算	1,875,542円	
	(4) 人材確保事業加算	1,047,500円	
	種別	施設数	定員
	認可保育所	18施設	1,279人
実績を踏まえた評価・課題	認定こども園	1施設	105人
	認証保育所等	13施設	400人
	※定員は、令和8年3月31日時点の数字です。		
	就学前の子どもたちが快適で安心して過ごすことができるようにするとともに、保護者に対してもその専門性を生かした子育て支援をより充実させることで、保育の質の向上と保育所における地域子育て支援を推進していく必要があります。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、多様な補助メニューを実施するとともに、子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、さらなる保育の質の向上と保育所における地域子育て支援の充実を図ります。		
所管課 子ども部 子ども支援課		決算参考書 150、152頁	R7予算の概要 109頁

19 病児・病後児保育室整備【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区子ども・子育て支援事業計画)

事業概要	内容	区は、保護者の子育てと就労の両立を支援するため、病気の回復期に至らないが、当面の症状の急変が認められない場合又は病気の回復期にある乳幼児を一時的に預かる病児・病後児保育を実施しています。 令和7年度は、新たに神田地域で病児・病後児保育室の開設をめざし、民間事業者の協力を得ながら施設整備に取り組んでいきます。			
事業費	予算現額		決算額		執行率
	16,200,000円		13,922,000円		85.9%
事業実績	○令和7年度実績 神田地域での病児・病後児保育室開設に向けて、施設改修費等の補助を行いました。				
	施設名		保育内容	利用定員	開設日
	千代田加賀クリニック かいふく子ルーム (神田神保町一丁目103番地)		病児・病後児	3名	令和8年4月10日
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度予算への対応 令和9年度予算への対応	麹町地域に加えて、神田地域にも病児・病後児保育室を開設したことで、保護者が安心して就労できる環境の整備と供給量の確保を図りました。 令和8年度は、既存施設における必要な改修工事等について補助を行います。 今後は千代田区子ども・子育て支援事業計画を踏まえつつ、利用状況を注視しながら、保護者の子育てと就労の両立への支援に向けた取組みを行っていきます。				
所管課 子ども部 子育て推進課			決算参考書	152頁	R7予算の概要 -

20 私立学童クラブへの運営補助関連事業【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。

(関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン、千代田区子ども・子育て支援事業計画)

事業概要	内容	区は、保護者の就労等の理由により、放課後等に適切な保育を受けられない小学生に遊びと生活の場を提供するため、民間事業者が運営する学童クラブ事業や拡大型を含む一時預かり保育事業等の運営支援を行い、子どもたちの健全な育成と子育て家庭の支援を行っています。 令和7年4月に、私立学童クラブ2か所を新たに開設しました。 令和7年度も引き続き、民間が運営する学童クラブの運営を支援することで、保護者の就労支援の充実を図ります。		
事業費	予算現額		決算額	執行率
	(1) 富士見わんぱくひろば事業運営	150,634,000円	115,484,000円	76.7%
	(2) 私立学童クラブ運営補助	647,948,000円	589,903,452円	91.0%
事業実績	○令和7年度実績 学童クラブ需要が高い地域における受入体制の確保を目的に、令和7年4月に私立学童クラブ2か所を新たに開設し、当該地域における受入定員の拡充を図りました。			
	施設名	定員	所在地	
	富士見わんぱくひろば学童クラブ分室	40人	富士見一丁目1番6号 旧九段中学校敷地内建物	
	スターチャイルド学童クラブ和泉橋	40人	東神田二丁目6番5号 東神田ビル1階	
令和9年度予算への対応 実績を踏まえた評価・課題	学童クラブは、保護者の就労を支える重要な社会基盤であり、その安定的な運営を確保するため、継続的な支援を講じていくことが必要です。 令和9年度は、令和8年度に引き続き、運営事業者との相互連携の下、学童クラブの安定的な事業運営に対する支援を実施し、待機児童ゼロの堅持及び学童クラブを必要とする全ての保護者の就労支援の充実を図ります。			
所管課 子ども部 児童・家庭支援センター		決算参考書	154頁	R7予算の概要 110頁

21 発達障害等の療育経費助成【拡充】

第4次基本構想のめざすべき姿等

お互いに支えあい、誰ひとり取り残されることがなく、自分らしく、自立した生活を送ることができています。

将来像に向けた方向性

多様性を認めあう社会の実現に向けた取組みを推進する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区障害福祉プラン)

事業概要	内容	区は、発達障害等の子どもが安心して過ごすことができるとともに、保護者の経済的・精神的な負担を軽減できるよう、専門の療育機関等で相談や検査及び療育指導等を受けた場合に係る経費を助成しています。 令和7年度は、より支援が必要な子どもたち（障害者手帳所持者又は通所受給者証所持者）に対して助成上限額を月1万円から2万円に引き上げ、経済的負担をさらに軽減します。					
事業費	予算現額		決算額		執行率		
	17,945,000円		17,790,590円		99.1%		
事業実績	○令和7年度実績 本事業の申請人数208人のうち、障害者手帳所持者又は通所受給者証所持者は113人であり、そのうち、上限引上げの適用者は77人でした。また、引上げによる追加助成額（1万円超過分）の合計は4,056,882円でした。						
	申請月	令和7年度		令和6年度		令和5年度	
		申請件数	助成額	申請件数	助成額	申請件数	助成額
	6月	92件	4,737,490円	84件	3,955,279円	64件	2,699,257円
	10月	105件	5,726,603円	87件	3,664,942円	58件	2,056,494円
	2月	137件	7,326,497円	96件	4,113,513円	74件	3,136,078円
	合計	334件(208人)	17,790,590円	267件(198人)	11,733,734円	196件(133人)	7,891,829円
※かっこ内は、本事業を利用した児童数（実人員）を記載しています。							
実績を踏まえた評価・課題 令和8年度 令和9年度予算への対応	障害者手帳又は通所受給者証を所持する子どもに対して助成上限額の引上げを行ったことにより、より支援を必要とする層に対する保護者負担の軽減に寄与しています。申請件数及び助成額はいずれも年々増加しており、年齢層の広がりや障害特性の多様化に応じた支援ニーズが高まる中、引き続き子どもの発達課題を早期に把握し、療育へとつなぐ支援を継続していくことが必要です。 令和8年度は、申請者が利用しやすい制度となるよう、申請期間など手続きの改善に向けた検討を進めていきます。 令和9年度は、令和8年度の検討結果を踏まえて必要な見直し等を実施します。また、早期発見・早期療育を一層推進するため制度周知などを行うとともに、保護者の経済的及び精神的負担の軽減を図り、子どもの心身の発達を継続的に支援していきます。						

所管課 子ども部 児童・家庭支援センター	決算参考書	156頁	R7予算の概要	118頁
----------------------	-------	------	---------	------

22 乳児等通園支援事業【補正予算】

第4次基本構想のめざすべき姿等

多様なライフスタイルやライフステージに応じ、安心して子育てができています。

将来像に向けた方向性

子どもを安心して産み、育てることができるまちを実現する必要がある。
(関連する主な分野別計画：千代田区子ども・子育て支援事業計画)

事業概要	内容
	令和6年6月に成立した子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、月一定時間まで、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな制度として、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）が創設されました。 令和7年度は、令和8年度からの制度の本格実施に向けて、ニーズや課題等を把握するため、試行的に事業を実施します。

事業費	予算現額	決算額	執行率
	12,079,000円	4,454,580円	36.9%

事業実績

○令和7年度実績

(1) 試行的事業の実施

令和8年度からの本格実施に向けて、令和8年1～3月の期間で区内在住の保育園等に通っていない0歳6か月から満3歳未満の乳児等を対象に、区内5つの施設（保育園、幼稚園、こども園）において試行的に通園支援事業を実施しました。また、利用者及び運営事業者へのアンケートを実施し、効果を検証しました。

※主なアンケート結果：全体としての満足度は、「とても満足」（43%）、「おおむね満足」（50%）となっており、子どもの変化については「施設の先生や他園児と過ごすことができるようになった」（71%）、「新しいことに取り組む機会が増えた」（43%）といった回答がありました。

(2) 利用人数等

試行的事業の受入施設	受入児童の年齢	利用人数 (カッコ内は内訳)	延べ 利用時間
クレアナーサリー市ヶ谷	1歳	2人（1歳児2人）	53時間
あい・ぼーと「小さな家」麹町	1歳	3人（1歳児3人）	84時間30分
千代田せいが保育園	0～2歳	2人（0歳児1人・1歳児1人）	48時間
神田寺幼稚園	0～2歳	9人（0歳児4人・1歳児4人・2歳児1人）	110時間
区立いずみこども園	1・2歳	4人（1歳児3人・2歳児1人）	80時間
合計	—	20人	375時間30分

※受入施設数が当初の見込みより少なかったため、執行率が低くなりました。

実績を踏まえた評価・課題 令和9年度予算への対応	子どもが家族以外の人と関わる機会を通じて成長・発達に資する豊かな経験を得るとともに、保護者の育児に対する孤立感や不安感を解消するため、保護者の就労要件を問わず柔軟に保育施設を利用できる環境を整える必要があります。 令和8年度は、受入施設数を10施設に拡大するとともに、利用実績や利用ニーズの分析を進めることで、より利用しやすい事業運営に努めます。 令和9年度は、子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、引き続き乳児等の発達の促進と保護者の孤立感や不安感の解消に向けた取組みを進めます。
-----------------------------	---

所管課 子ども部 子育て推進課	決算参考書	158頁	R7予算の概要	-
-----------------	-------	------	---------	---

23（仮称）四番町公共施設整備

第4次基本構想のめざすべき姿等

すべての子どもたちの個性や意思が尊重され大切に育まれながら、すくすくと成長しています。

将来像に向けた方向性

のびのびとした健やかな育ち・学びを保障するとともに、新しい時代の学びを実現していくことが必要である。

（関連する主な分野別計画：千代田区子育て・教育ビジョン）

事業概要	内容	四番町保育園・児童館等施設は、四番町図書館、住宅等も含めた一体的な施設整備を行っています。 新たな施設は安全・安心をベースとし、子育て機能の拡充と住みよい住環境の実現をコンセプトに、バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮とともに、自然エネルギー・再生可能エネルギー利用の促進など、居住者・利用者と環境に配慮した施設をめざしています。 令和8年度の竣工に向けて、令和7年度も引き続き、新築工事を進めていきます。 ※工事費及び工事監理委託料の金額は、地域振興部、環境まちづくり部、政策経営部分を含む合計金額です。		
		予算現額	決算額	執行率
事業費	(1) 工事費	901,000,000円	901,000,000円	100.0%
	(2) 工事監理委託料	38,000,000円	37,000,000円	97.4%
	(3) 事務費	7,448,000円	1,765,604円	23.7%
事業実績	○令和7年度実績 (1) 新築工事 令和6年度に引き続き、新築工事を進めています。 (2) 施設開設に向けた準備 庁内検討会において、新施設への引っ越しのスケジュールや初度調弁の見通し等について確認・検討を行いました。 ※事務費については、設計修正業務が発生しなかったため、執行率が低くなりました。			
実績を踏まえた令和9年度予算への対応	整備にあたっては、児童・園児・周辺地域等に十分配慮しながら工事を進めていくことが必要です。 令和8年度は、令和7年度に引き続き、竣工に向けて新築工事を実施するとともに、施設開設に向けた準備を進めます。 供用開始後は、児童・園児等が安全・安心に利用できるよう、施設の管理・運営に努めていきます。			

所管課 子ども部 子ども施設課

決算参考書 158、202、210、218、236頁

R7予算の概要

116頁